

# 令和3年度 新潟医療生活協同組合 介護職員実務者研修（通信制）募集要項（実施案）

## 1. 研修目的

当法人が理念として掲げる「人間を大切にすることがすべての根元である」の精神に基づき、地域住民の福祉の向上を図るため、介護保険施設等や居宅に於いて、安全に介護を行うことができる介護職員を養成します。

## 2. 研修実施機関

新潟医療生活協同組合

## 3. 研修期間

研修日程 令和3年6月4日（金）から11月28日（日）の約6ヶ月間

通信講座 レポート提出と単元修了試験、各提出日は、下記の表に記載しております。

通学講座（介護過程Ⅲ・医療的ケア） 通学日程につきましては下記の表に記載しております。

※当研修は、令和3年度介護福祉士等就学資金貸付事業の対象となっており、それを利用することで金銭的負担を抑えて研修を受けることが出来ます。介護福祉士等就学資金貸付をご希望される方は、介護福祉士等就学資金貸付事業の説明を、入校時のオリエンテーションで行います。

## 通信講座日程

提出回	科目	レポート提出期限
第1回	人間の尊厳と自立	令和3年6月25日（金）
	社会の理解Ⅰ	
	社会の理解Ⅱ	
	介護の基本Ⅰ	
	介護の基本Ⅱ	
第2回	コミュニケーション技術	令和3年7月16日（金）
	生活支援技術Ⅰ	
	生活支援技術Ⅱ	
第3回	介護過程Ⅰ	令和3年7月30日（金）
	介護過程Ⅱ	
第4回	発達と老化の理解Ⅰ	令和3年9月10日（金）
	発達と老化の理解Ⅱ	
	認知症の理解Ⅰ	
	認知症の理解Ⅱ	
	障がいの理解Ⅰ	
	障がいの理解Ⅱ	
第5回	こころとからだのしくみⅠ	令和3年10月8日（金）
	こころとからだのしくみⅡ	
第6回	医療的ケア	令和3年10月22日（金）

## 通学日程

入校式	開催日				開催場所
	—	6月04日	金	17:45～19:00	なじよも4号館3階 実技室
介護過程Ⅲ	1日目	8月07日	土	9:00～16:00	なじよも4号館3階 講義室
	2日目	8月09日	月	17:45～20:45	
	3日目	8月18日	水	17:45～20:45	
	4日目	8月20日	金	17:45～20:45	
	5日目	8月25日	水	17:45～20:45	
	6日目	8月27日	金	17:45～20:45	
	7日目	9月01日	水	17:45～20:45	
	8回目	9月03日	金	17:45～20:45	
	9日目	9月08日	水	17:45～20:45	
	10日目	9月10日	金	17:45～20:45	
	11日目	9月15日	水	17:45～20:45	
	12日目	9月17日	金	17:45～20:45	
	13日目	9月22日	水	17:45～20:45	
	14日目	9月24日	月	17:45～20:45	
医療的ケア 「高齢者及び障がい児・者の喀痰吸引と経管栄養の実施手順解説」と演習	1日目	10月27日	水	17:45～20:45	なじよも4号館3階 実技室
	2日目	10月29日	金	17:45～20:45	
	3日目	11月05日	金	17:45～20:45	
	4日目	11月12日	金	17:45～20:45	
	5日目	11月19日	水	17:45～20:45	
	6日目	11月26日	金	17:45～20:45	
単元卒業試験 救急救命蘇生法演習 医療的ケア (演習・実技試験) 修了式	7日目	11月27日	土	8:30～17:30	なじよも4号館3階 実技室
	8日目	11月28日	日	8:30～17:30	

※カリキュラム・時間割は都合により変更する場合があります。

#### 4. 受講資格

- ・受講にあたって要件は特にありません。但し、現在介護事業所にお勤めの方が優先されます。

#### 5. 募集定員

24名

#### 6. 募集期間

令和3年4月5日(月)～5月21日(金)

※郵送の場合は、5月20日(木)必着。 持参の場合5月21日(金)16:30迄

## 7. 研修内容及び受講料

【別表】 1-1 をご参照ください。

## 8. 研修について

### (1) 講義及びレポートと単元修了試験提出（通信学習）

自宅学習とレポート提出を行い、レポート提出後の単元修了試験で 70 点以上を合格と認定します。

### (2) 介護過程Ⅲ（講義・演習）

スクーリングでの講義・演習により確かな介護技術を学ぶ。

面接試験を実施し正しい知識の定着を確認します。

### (3) 医療的ケア（通信学習）

自宅学習とレポート提出をしていただきます。

### (4) 医療的ケア（演習）

スクーリングでの演習により確かな技術を学ぶ。

シミュレーター（人形）を用いた演習を実施し、技能の習得を確認します。

演習後単元修了試験で 90 点以上を合格と認定します。

### (5) 補講の取り扱い

レポート提出並びに単元修了試験提出期限内に提出できなかった場合は、「補講日」を設定し、レポート提出と単元修了試験を受けていただくことをご了解ください。その際、単元修了試験時間（50 分）3,000 円の補講費用がかかります。支払いは当日支払いでお願いいたします。

## 9. 受講料の返還

一旦納付された受講料は、原則として返還いたしません。

## 10. 研修の一部履修免除について

過去に一定の研修を修了された方については、研修の一部が履修免除になります。

免除科目については、【別表】 1-2 をご参照ください。また免除の対象となる研修を修了している方は、受講申込書に、当該研修を修了したことが確認できる書類のコピー（喀痰吸引等研修基本研修講義、演習修了証明書など）を添付して下さい。

## 11. 申込方法

郵送又は持参により、次の書類を下記の申込先に提出して下さい。

受講者は受講申し込み時に、申込書に運転免許証の写しを添付し提出していただきます。

運転免許証を所持していない受講者については、以下のいずれかの公的証明書の写しを提出していただきます。

受講申込は、定員となり次第締め切らせていただきます。

【提出書類】 様式 1 新潟医療生活協同組合 介護職員実務者研修（通信制）受講申込書

運転免許をお持ちでない方は、本人確認用の公的証明書の写しを添付をお願いします。

(1) 戸籍謄本又は、戸籍抄本 (2) 住民票 (3) 住民基本台帳カード (4) パスポート

## 12. 受講決定方法

定員を超える申込みがあった場合は、現在介護事業所にお勤めの方を優先し受講生を決定します。

### 13. 受講決定（不決定）の通知方法

申込者に対し、受講決定（不決定）通知を郵送します。通知については、締め切り後早めに郵送致します。通知が届かない方については、お手数ですがお問合せ願います。

### 14. 留意事項

- ・介護過程Ⅲ・医療的ケアのスクーリングを欠席した場合、当研修所が指定する補講（別途料金を添えて）受講する必要があります。遅刻・早退は理由の如何に係らず欠席扱いとなります。これも同様に補講が必要になります。
- ・医療的ケアの試験において、合格基準（正解率9割以上）に満たなかった場合は、不合格となり、研修を修了することができません。但し、正解率7割以上の者については、当研修所が行う、再試験を受験することができます。
- ・研修受講中に著しく公序良俗に反する言動や行動。または、講義を妨害・中止に追い込むような行為並びに、講師他に対しての暴力行為があった場合は、その場にて退出命令を出し、後程に除籍・退学処分にする場合があります。
- ・退学処分並びに、やむを得ない事由による研修を修了することができなかつた場合でも受講料の返還はできません。

お申込・お問合せ先

新潟医療生活協同組合 コープ ケア カレッジ 事務局  
担当 井上・手塚

〒950-0891 新潟県新潟市東区上木戸5丁目2番1号

4号館 コープケアカレッジ事務室

TEL 025-271-6161 / FAX 025-282-7180

※電話対応の時間帯は、朝9：00～16：30迄

【別表】 1-1

番号	修得形式	科目	履修時間	無資格者	初任者研修修了者	ヘルパー2級修了者	喀痰吸引研修修了者
1	—	入校式／オリエンテーション	—	必須	必須	必須	必須
2	自宅学習	人間の尊厳と自立	5	5	—	—	5
		社会の理解Ⅰ	5	5	—	—	5
		社会の理解Ⅱ	30	30	30	30	30
		介護の基本Ⅰ	10	10	—	—	10
		介護の基本Ⅱ	20	20	20	—	20
3		コミュニケーション技術	20	20	20	20	20
		生活支援技術Ⅰ	20	20	—	—	20
		生活支援技術Ⅱ	30	30	—	—	30
4		介護過程Ⅰ	20	20	—	—	20
		介護過程Ⅱ	25	25	25	25	25
5	通学	介護過程Ⅲ	45	45	45	45	45
6	自宅学習	発達と老化の理解Ⅰ	10	10	—	10	10
		発達と老化の理解Ⅱ	20	20	20	20	20
		認知症の理解Ⅰ	10	10	—	10	10
		認知症の理解Ⅱ	20	20	20	20	20
		障害の理解Ⅰ	10	10	—	10	10
		障害の理解Ⅱ	20	20	20	20	20
7		こころとからだのしくみⅠ	20	20	—	—	20
		こころとからだのしくみⅡ	60	60	60	60	60
8		医療的ケア（学科）	34	34	34	34	—
9	通学	医療的ケア（学科）	18	18	18	18	—
		医療的ケア（演習）	16	16	16	16	—
10	—	修了式	—	必須	必須	必須	必須
時間数計			468	468	338	338	400
受講料				144,000円	130,000円	130,000円	136,000円

※ 新潟医療生活協同組合 組合員の方は、上記料金から10,000円引きになります。

但し、組合員加入は入学金支払前にお手続き願います。それ以降では割引の対象になりません。

詳しくは、コープ ケア カレッジ 事務局 担当までお問合せ下さい。

※ 上記料金にはテキスト代14,080円が含まれます。喀痰吸引等研修を履修されている方のテキストには、第5巻医療的ケアは含まれません。

※ 上記料金につきましては、都合により改定する場合があります。

※ 研修を中断された方への返金はいりません。

【別表】 1-2

免除科目一覧

修得形式	科目	修了している研修（免除と必須科目）					
		無資格者	初任者研修修了者	ヘルパー2級	ヘルパー1級	喫煙吸引研修修了者	
自宅学習	人間の尊厳と自立	●必須	○免除	○免除	○免除	●必須	
	社会の理解Ⅰ		○免除	○免除			
	社会の理解Ⅱ		●必須	●必須			
	介護の基本Ⅰ		○免除	○免除			
	介護の基本Ⅱ		●必須	●必須			
	コミュニケーション技術		○免除	○免除			
	生活支援技術Ⅰ		○免除	○免除			
	生活支援技術Ⅱ		○免除	○免除			
	介護過程Ⅰ		○免除	○免除			
	介護過程Ⅱ		●必須	●必須			
通学	介護過程Ⅲ	●必須	●必須	●必須	●必須		
自宅学習	発達と老化の理解Ⅰ	●必須	○免除	●必須	○免除	●必須	
	発達と老化の理解Ⅱ		●必須				
	認知症の理解Ⅰ		○免除				
	認知症の理解Ⅱ		○免除				
	障害の理解Ⅰ		●必須				
	障害の理解Ⅱ		●必須				
	こころとからだのしくみⅠ		○免除				○免除
	こころとからだのしくみⅡ		○免除				○免除
通学	医療的ケア（学科）	●必須	●必須	●必須	●必須	○免除	
	医療的ケア（演習）		●必須	●必須	●必須	○免除	

## カリキュラム(介護職員実務者研修(通信制))

大項目	中項目	必要時間 (注1)	実施時間 (注2)
人間の尊厳と自立		5	5
	人間の尊厳と自立	3	3
	利用者の権利擁護	2	2
社会の理解 I		5	5
	介護保険制度	5	5
社会の理解 II		30	30
	生活と福祉	5	5
	社会保障制度	11	11
	障害者福祉	7	7
	介護実践に関連する制度	7	7
介護の基本 I		10	10
	介護福祉士制度	3	3
	尊厳の保持自立に向けた介護	4	4
	介護福祉士の倫理	3	3
介護の基本 II		20	20
	介護を必要とする人の生活の理解と支援	3	3
	介護実践に於ける連携	7	7
	介護に於ける安全の確保と、リスクマネジメント	8	8
	介護職の安全	2	2
コミュニケーション技術		20	20
	介護に於けるコミュニケーション技術	5	5
	心身の状況の理解とコミュニケーション	8	8
	介護に於けるチームのコミュニケーション	7	7
生活支援技術 I		20	20
	生活支援と ICF	2	2
	ボディメカニクスの活用	2	2
	介護の基本技術と福祉用具の活用	14	14
	環境整備	2	2
生活支援技術 II		30	30
	心身の状態に合わせた介護・福祉用具等の活用・環境整備	30	30
介護課程 I		20	20
	介護課程の基礎知識	5	5
	介護課程の展開	10	10
	介護課程とチームアプローチ	5	5

介護課程Ⅱ		25	25
	利用者情報の収集	10	10
	介護課程の展開の実際　－実施から計画の見直しまで－	15	15
介護課程Ⅲ		45	45
	介護課程の展開　－ガイダンス・実践編－	3	3
	介護課程の演習	33	33
	介護課程の評価	9	9
発達と老化の理解Ⅰ		10	10
	老化に伴うこころの変化	2	2
	老化に伴う身体の変化	8	8
発達と老化の理解Ⅱ		20	20
	人間の成長・発達	2	2
	高齢期の発達課題、心理的な課題	5	5
	高齢者に多い症状と疾病、その留意点	13	13
認知症の理解Ⅰ		10	10
	認知症ケアの理念	3	3
	認知症の心理・行動の理解と対応	4	4
	当事者・家族への支援	3	3
認知症の理解Ⅱ		20	20
	認知症の医学的理解	8	8
	認知症の人のアセスメント・支援	8	8
	認知症ケアの地域サポート体制	4	4
障害の理解Ⅰ		10	10
	障害者福祉の理念	3	3
	障害の定義、生活上の困難と心理・行動	5	5
	障害児・者と家族との関わり・支援の基本	2	2
障害の理解Ⅱ		20	20
	医学的側面から見た障害の理解	14	14
	障害者への支援の実際	6	6
こころとからだのしくみⅠ		20	20
	介護に関係したからだのしくみの基礎的な理解	20	20
こころとからだのしくみⅡ		60	60
	人間の心理	4	4
	人間の構造と機能	10	10
	具体的事例に基づく介護技術の理解	48	46
医療的ケア		50	50
	人間と社会	1.5	1.5
	保健医療制度とチーム医療	2	2



	安全な療養生活	2	2
	清潔保持と感染予防	2.5	2.5
	健康状態の把握	3	3
	救命救急講習	2	2
	高齢者および障害児・者の「喀痰吸引」	11	11
	高齢者および障害児・者の「喀痰吸引」の実施手順	8	8
	高齢者および障害児・者の「経管栄養」	10	10
	高齢者および障害児・者の「経管栄養」の実施手順	8	8
	手技演習	18	18
	手技演習		
	手技演習		

(注1) 中項目の時間配分は参考例

(注2) 大項目の必要時間数を確保すること。